



## COMPANY PROFILE

**Boston  
Scientific**  
Advancing science for life™

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社  
本社 東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス  
[www.bostonscientific.jp](http://www.bostonscientific.jp)  
CORP-1506901-AA



# Our Mission and Core Values

## Mission and core values

私たちのミッションとコア・バリュー

ボストン・サイエンティフィックは、患者さんへの負担を可能な限り軽くすることのできる低侵襲治療（インターベンション）に特化した医療機器メーカーとして、1979年に米国で誕生しました。現在、取り扱う製品は17,000種以上。グローバルで約41,000名の従業員、16カ所の製造拠点を擁し、115カ国近くのマーケットで確固たる地位を築いている世界最大級の医療機器メーカーとして、医療テクノロジーをリードし続けています。

### ▶ Our Mission

ボストン・サイエンティフィックは、世界中の患者さんの健康状態を改善するために、革新的な治療法を提供し、患者さんの人生をより多岐にわたるものとするために全力で取り組みます。

### ▶ Core Values



### ▶ 沿革

	本社	日本
ボストン・サイエンティフィック コーポレーション創立	1979	
		1987 ボストン・サイエンティフィック 株式会社創立
NY株式市場に株式公開	1992	
		1993 ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社設立 (サイメド・ライフシステム社との合併による)
冠動脈薬剤溶出型ステント Taxus Express上市	2004	
ガイダント社の買収、 カーディアック・リズム・ マネジメントに参入	2006	
マイク・マホーニー、 最高経営責任者 (CEO) に就任	2012	
		2013 中野セントラルパーク サウスへ移転
創立40周年、BTG社の買収で インターベンショナル オンコロジー拡充	2019	
		2021 新しい働き方である ハイブリッド勤務体制を導入し、 中野本社オフィスをリニューアル
		2022 代表取締役社長に 森川 智之が就任



## President Message

### Value-based healthcare

バリューベース・ヘルスケアへの貢献に向けて

ボストン・サイエンティフィック コーポレーションは、1979年に米国で創業以来、医療テクノロジーのグローバルリーダーとして、革新的でユニークな製品を提供してまいりました。現在は115カ国で事業を展開し、診断から治療まで一気通貫で患者さんをケアできる幅広い製品群によって、患者さんの満たされないニーズに対応しています。

日本法人であるボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社は、1987年に創立し、さまざまな先端医療機器を日本に導入してまいりました。

医療機器メーカーにとって最も重要な役割は、未だ十分に満たされない医療現場のニーズに応える革新的な技術や製品を提供し、疾患による負担の軽減を通じて患者さんに貢献することです。また、治療効果の高い医療機器の提供は、治療効果の維持や再治療率低下などの結果を生み、医療現場の負担を軽減し、医療保険システムの安定と持続へと寄与します。ひいては日本が現在直面する高齢化と医療財政の課題解決の一助にも繋がると確信しています。

一方で、今後大きく変化する医療環境においては、多様なデータの利用やデジタルの有効活用などにより、私たちが持つ“時代の先読み力”を強化し、革新的な医療機器の日本への展開を加速してまいります。

私たちボストン・サイエンティフィック コーポレーションは、「When we challenge, we advance. 挑むからこそ、前へ進む。」つまり、私たちが問題解決に立ち向かう真摯なスピリットをコーポレートメッセージとして掲げています。

課題と向き合い、困難をチャンスとして受け止め、自信と情熱をもって積極的に解決にあたる姿勢を持ち、医療従事者の皆さまと手を携えながら、患者さんアウトカム（治療結果）の改善に向けて邁進してまいります。

代表取締役社長  
**森川 智之**  
Satoshi Morikawa





**Focus on**  
**Category Leadership**

# Therapeutic areas

日本における事業領域

ボストン・サイエンティフィックは世界中の患者さんの健康を向上させる革新的なメディカルソリューションにより生活を改善しています。40年超、グローバルな医療テクノロジーのリーダーとして、満たされていないニーズに対応し、コストを削減するパフォーマンスの高い広範なソリューションを提供しています。日本においては、ここで紹介する治療領域で、患者さんの人生をより多いものにするために全力で取り組み、日本の医療に意義のあるイノベーションを起こしていきます。

## ▶ 心・血管系



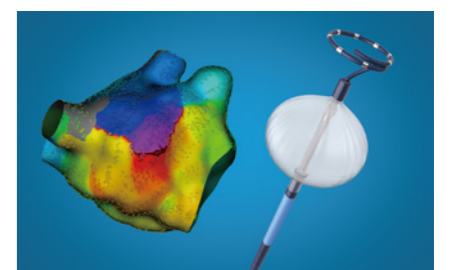
**インターベンショナルカーディオロジー**  
狭心症や心筋梗塞などの心血管疾患の診断・治療製品



**ストラクチャーハート**  
非弁膜性心房細動による脳卒中を予防する製品



**リズムマネジメント**  
不整脈・心不全治療に用いる植込み型医療機器や不整脈の診断・治療製品



**エレクトロフィジオロジー**  
心疾患の一つである不整脈の診断・治療に用いる電気生理学的治療の製品

## ▶ 消化器系

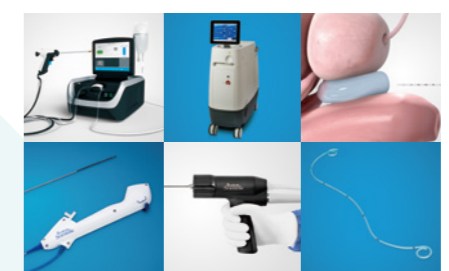


**ペリフェラルインターベンション**  
閉塞性動脈硬化症等の末梢血管内治療、血液透析治療および腎・肝に対するオンコロジー治療に用いる製品



**エンドスコーピー**  
消化器系の癌やポリープ、胆膵疾患、消化管狭窄症、呼吸器疾患や経腸栄養などの診断・治療製品

## ▶ 泌尿器系・婦人科系



**ウロロジー**  
尿路結石症、前立腺肥大症、男性／女性尿失禁などの泌尿器疾患の治療製品

## ▶ 神経系



**ニューロモジュレーション**  
難治性慢性疼痛疾患に対する脊髄刺激療法と、パーキンソン病・振戦・ジストニアに対する脳深部刺激療法関連製品



# Commitment to the Medical Community

## Value for healthcare professionals and patients

治療のサステナビリティのために

ボストン・サイエンティフィックでは、  
当社製品をより安全かつ適正に使用いただくため、  
最新の製品情報や医療技術を医療従事者の方々、  
特約店様、社員向けに提供しています。



### 医療従事者向け トレーニング施設

ボストン・サイエンティフィック インスティテュート・フォー・アドバンシング・サイエンス ジャパン(宮崎、東京)の2カ所の施設では、医療従事者の方々に最新の製品情報や医療技術、適正使用の情報提供等を行うことを目的に、医療治療トレーニングセンターのパイオニアとして最新鋭の設備と充実したプログラムを提供しています。



### デジタルツールを 活用した遠隔ソリューション

スマートグラス等の通信機器を使用し、遠隔での情報提供、病院と他施設の医師を遠隔でつないで行う技術指導、遠隔による製品の保守・点検の実施など、デジタルツールを活用して医療従事者をサポートします。



### EDUCARE-Online : 座学教育を 集約したワンストッププラットフォーム

ボストン・サイエンティフィックは、医療従事者の方々に向けて、より実践的・包括的な情報提供や製品トレーニングを、より利用しやすい形で提供することを目指しています。EDUCARE-Onlineは患者さんにとってよりよい治療を実現するための様々な支援をワンストップで提供します。



### 医療従事者へ 医療機器の価値を伝える

医療機器営業(SR)の主な役割は、医療機関に対する当社製品の販売を担当し、製品の適正使用や関連情報の提供、および機器の運用方法や効率化に関するソリューションの提案を行う職務です。SRは病院の経営や治療の現場に関与する機会もあり、医療現場に貢献しているという手ごたえを得られる点が醍醐味と言えます。もちろん、医療機器や疾患の高度な学術専門知識、高い倫理観を会社の代表として求められることは言うまでもありません。



## Promote diversity in careers and workstyles

## Great place to work

目的意識を持った、多様な働き方をサポートします

当社では、従来からフレックス制度や在宅勤務など、多様性や生産性にフォーカスした柔軟な働き方を行ってきましたが、新型コロナの拡大を機にさらなる対応を充実。

リモートワークの上限日数やコアタイムを廃止し、

新しい働き方で業務効率を上げて、ビジネスを成長させています。



### キャリアオーナーシップ

社員の自律的キャリア開発(キャリア・オーナーシップ)を推進するため、応募型研修の提供のほか、管理職を含む社内のオープンポジションを公開し、社員が自ら応募できる「社内公募」制度を積極的に活用しています。さらに、社内公募の次のステージとして、2022年より「社内インターンシップ」を導入。今の仕事を続けたまま興味のある仕事を6か月間体験できるこの制度は、社員の視野や経験の幅を主体的に広げる機会の提供であると同時に、人と組織のパフォーマンスの最大化につながっています。このように、グローバルで展開する活動だけでなく、日本の組織ニーズに即した様々な施策を行っています。



### 働き方の多様性推進

一人ひとりが自律性を高め、仕事に合わせた生産的な働き方・場所選びができるよう、機能・目的に応じて、分けられたエリアを設定し、最適な場所を選んで働くことができるABW(アクティビティ・ベースド・ワーキング)を導入。2021年6月より、リモートと出社勤務を併用したハイブリッド勤務体制へ移行。コアタイムを廃止したスーパーフレックスタイム制度により7時から20時の間でフレキシブルな勤務が可能です。



### ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)

D&Iにも取り組み、積極的な障がい者の採用・女性管理職の登用を推進。産休育休復帰率は100%、男性の出産・育児休暇取得率は70%にのぼります。また、LGBTQ+がいきいきと働くことができる環境を整備するために同性婚も社内制度上、法律婚と同様に扱っています。従業員リソースグループ(ERG)である、Young Professional's Network (YPN:それぞれの専門領域で活躍するYoung Professionalをつなぎ、自己啓発・自己成長を促すきっかけづくりを行う)やEmpowHER(キャリア継続支援だけでなく、女性のエンパワメントを目的とした選抜型の育成プログラムの実施や登用の促進)も活発に活動しています。





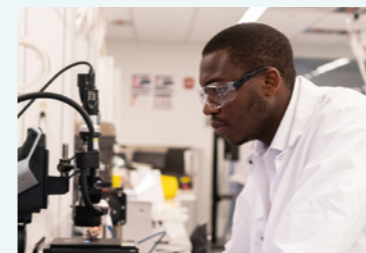
# Living Our Values: ESG Highlights and Contributions

## ESG: Environmental, Social and Governance

私たちの価値観を生きる

ボストン・サイエンティフィックは、環境・社会・ガバナンス (ESG) 戦略を、当社のステークホルダーの価値を最大化する方法の中核に据えています。当社は、事業の成長を可能にし、結果を出すために、倫理的で持続可能な包括的慣行を通じて戦略を実行します。

### ▶ ESGの5つの柱



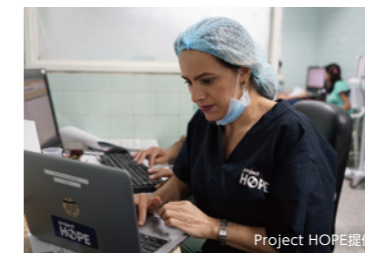
#### 1. トランスフォーメーションケア

ヘルスケアにおける私たちの仕事は、患者さんの重要なニーズに応えることです。患者さんのニーズに応え、医療へのアクセスを拡大し、成果を向上させることです。



#### 2. 人材への投資

ボストン・サイエンティフィックは、企業として、また、地球市民として、社員の才能と情熱の集合体です。当社は、社員が大切にされ、自分の居場所があると感じられる場所であるよう努力しています。



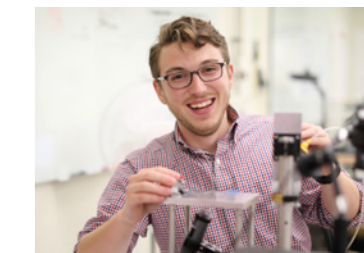
#### 3. 可能性を加速

患者さんの予後を改善するために、私たちはグローバルレベルでの健康格差に取り組んでいます。私たちは、社外のパートナーと協力し地域社会の教育、医療機関、医療従事者への働きかけを促進します。



#### 4. 環境を守る

患者さんの生活を向上させるためにできることは、私たち全員が共有する地球を守ることです。気候変動に立ち向かい意欲的な環境目標を達成するために、私たち自身が挑戦することです。



#### 5. 責任を持った価値の創造

ボストン・サイエンティフィックのコミットメントは、当社の対外活動にも及びます。私たちは健康の公平性を提唱し、地域社会に奉仕し、より包括的な社会を創造するために有意義な貢献をしていきます。

### ▶ 地域社会への貢献



#### 患者さん ヘルスケアにおける公平性への取り組み

「Close the Gap」は医療従事者との協力体制に焦点を当て、健康格差の是正を目指す取り組みで18年を迎えます。72,000人以上の様々なグループが、公平な医療を受けられないリスクがあることに注目し、その是正に行動しました。



#### 従業員 ダイバーシティ、エクイティ & インクルージョン (DE&I)

活気ある従業員コミュニティの創造を推進しています。当社では8,000人以上の従業員が、様々なグループを形成して活動しています。



#### 地域社会 ケアリング・バリューの実践

当社では、50カ国以上における地域で、3,600人以上の従業員がボランティア活動に従事しており、その総時間は50,000時間以上におよびます。



# About Boston Scientific

## Product management

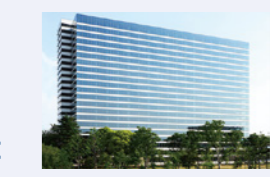
日本における物流拠点「横浜物流センター」

横浜物流センターでは海外拠点から輸入した医療機器を国内で販売・流通できるようにラベルの添付や包装を行い、より迅速に製品を全国のお客様へ向けて出荷しています。

設立以来、積極的にリサイクルプログラムを推進しており、2013年からは、返却輸送箱の一部や緩衝材の再利用による廃棄削減を実施、固形廃棄物を削減しました。また、日本の医療機器・製薬メーカーとしてはいち早く自動ロボット制御ピッキングシステムである、AutoStoreを導入し、より効率的で正確な製品の先入、先出を実現しています。

このシステムの導入により、特定のロット番号を有する製品をピックアップすることが可能となり、例えば、製品の滅菌有効期限切れによる廃棄削減にも役立っています。

次世代のオートメーションやセンサーを使ったIoT技術により、弊社のサプライチェーン機能は大幅に強化され、今後も、サードパーティー・ロジスティック企業と戦略的なパートナーシップを組み、直面する課題を見据えて解決していきます。



### ▶ 会社概要

**ボストン・サイエンティフィック コーポレーション**

会社名	ボストン・サイエンティフィック コーポレーション
創立	1979年
所在地	米国マサチューセッツ州 マールボロ
代表	マイク・マホーニー 最高経営責任者 (CEO)
海外拠点	北米、南米、ヨーロッパ、日本、アジア・パシフィック、中近東、アフリカ

**ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社**

本社所在地	〒164-0001 東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス URL:www.bostonscientific.jp
国内営業所	本社、札幌営業所、仙台営業所、北関東営業所、東京営業所、金沢営業所、名古屋営業所、大阪支店、広島営業所、福岡営業所、横浜物流センター、IAS東京、IAS宮崎(宮崎T&E)
創立	1987年11月 ボストン・サイエンティフィック株式会社
代表取締役社長	森川 智之
主要取引先	全国主要病院
事業内容	医療機器の輸入および販売 医療に関する情報提供サービス 医療に関するセミナー、講演会、展示会の開催など 医療機器の臨床開発、薬事申請およびこれらに付随・関連する業務